

あい
なん

議会

だより



第4号
2025.12

住民とともに歩む議会を目指して



あいなん未来議会2025
高校生議員の皆さん

高校生議員の声を聞く

議会報告・意見交換会(内海会場)

一般質問、議員研修結果報告

お知らせ、編集後記

p2-3

p4-5

p6-7

p8



町ホームページで
過去の紙面も
ご覧いただけます。

二次元コード
を読み取って
ご覧ください。



を聞く



た高校生議員の皆さんと意見交換会を行いました。
の思いを率直に語ってくれました。

未来議会を終えての感想

地域や教育への要望

教師の仕事は大変なので、もっと
支援を充実してほしい。



若者の声を聞く場を 増やしてほしい

今回の質問のほかにも意見がある。
学校に来て直接意見を聞いてほしい。



高校生が集まれる交流の場をつ
くってほしい。



年に何度かアンケートなどがあると
話しやすい。



発言の難しさを実感

いざ自分でやってみ
ると、なかなか言いた
いことが出てこなかっ
た。



町議会議員の姿に感心

状況判断や連携の力
がすごいと思った。



町議会に対して

議会中継を見るきっ
かけになった。



何度も経験すれば
もっとできるようにな
ると思う。



緊張する場面で発言
できるのは議員ならで
はだと思う。



自分たちも体験して
みて、議会がより身近
に思えるようになっ
た。



高校生議員の声

9月18日、南宇和高校において、議会広報特別委員会の委員が「あいなん未来議会 2025」に参加し実際に議場に立ち一般質問を経験した高校生議員は、その体験を通して感じたことや、町政・教育へ

議会側の受け止め

高校生議員の意見はしっかりしており大変参考になったと高評価。



実現できそうな要望は議会広報で報告し、行政や事務局にもつなげる意向。



今回の未来議会は完成度が高かったと感じている。



このほかにも、事前に頂いた高校生議員からの感想には「これからの学校生活に生かす」

「受験にも生かす」

「今後も愛南町の魅力活性活動をする」

「時間もなくて大変だったけど自信につながった」

などがあり、この体験を通じて様々なことを吸収した高校生議員。

未来議会後は、なんと高校生議員全員が町議会中継（録画含む）を見たとのこと！

議会を身近に感じ、町政や議会に大きく興味を持ったことが伺えます。

そんな様子を聞いていると、いつかこの中から本当の町議会議員が誕生する日がくるかも…とワクワクしちゃいますね。

高校生議員の熱い思いを聞かせてもらって、愛南町の未来がとっても楽しくなる意見交換会でした。



ご協力ありがとうございました

高校生議員の皆さん

みと 望翔さん こう 航さん しの 紫乃さん

さえり 紗依里さん みく 未玖さん ゆな 結奈さん

るな 月愛さん ほの 逢乃さん ゆうと 結人さん

うきょう 右京さん

令和7年第1回

「議会報告・意見交換会」を開催

テーマ

防災について



愛南町議会では、令和7年度の取り組みとして、旧5町村を対象に地域住民との意見交換会を順次開催しています。その第1回目となる「議会報告・意見交換会」を、10月22日(水)午後6時30分より、内海地域のDE・あ・い・21 4階多目的ホールで開催しました。

当日は、議会活動の報告に続き、地域住民と議会が率直に意見を交わす意見交換会を実施しました。本会は、住民の皆様が日常生活の中で感じている課題を共有し、それを議会活動に反映することで、より実効性のある地域づくりを目指すことを目的としています。

今回のテーマは「防災について」。内海地域を中心に、愛南町における防災の現状と課題、そしてその改善策について活発な意見交換が行われました。

その中から、主な意見をご紹介します。



避難生活について

避難生活の質を高めるため、浄化槽を活用した簡易トイレの導入や、ポータブル電源・ロケットストーブ・浄水器の普及が提案されました。

また、防災用品購入補助制度の活用と、制度の周知徹底の必要性も指摘されました。



避難所整備について

津波避難計画については、内海地域の住民から「一本松への避難は現実的ではない」との声があり、地元近隣の高台や公共施設を第二次避難所として整備すべきとの意見が出されました。

また、一次避難 → 中間避難 → 仮設住宅へと段階的に移行できる避難体制の構築や、テントを設置できる土地の確保・活用についても提案がありました。





情報提供について

災害時の迅速な避難行動を支援するため、スマートフォンで閲覧できる防災マップの使い方を周知する必要性が指摘されました。

また、観光施設などに避難情報を掲示・案内することで、町外からの来訪者にも適切な避難誘導ができる体制づくりが求められました。



組織・人材の強化策について

防災体制の充実に向けて、地元での防災士養成機会の拡充や、名簿整備・SNS等を活用した連携体制の構築が提案されました。

また、自主防災組織の訓練支援による地域格差の是正、消防団との連携強化、若手・女性団員の活躍促進など、人材面での取り組みの重要性が指摘されました。



○今後の展望

今後さらに、地域住民・議会・行政が連携し、実効性ある防災体制の構築を目指すことが重要です。防災士会や自主防災組織を中心に地域防災力の底上げを図り、「自助・共助・公助」のバランスを意識した持続可能な防災活動の推進が期待されます。



「議会報告・意見交換会」を開催します

～ご意見をお聞かせください～

議会の活動状況を報告し、町政全般について町民と意見交換を行う「議会報告・意見交換会」を開催します。当日は「防災」と「地域公共交通」のテーマに別れて話し合います。1～2月に開催が決定した分は次のとおりです。お住まいの地域に限らずどなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

【日時・場所】 1月28日(水)18:30～ 西海町民会館
2月 4日(水)18:30～ 愛南町役場本庁
2月18日(水)18:30～ 御荘文化センター

※実施方法など、詳しくは町ホームページに掲載します。また、10月28日(火)に一本松地域で開催した内容は次号(第5号)に掲載します。



愛南町HP

9月議会

「そこが聞きたい」 6名の議員が一般質問

各議員が、福祉や定住促進、防災、教育等の町政の広い範囲にわたって一般質問を行いました。



尾崎 恵一



Oizaki
Keiichi

問 南宇和高校魅力化による全国募集について

答 令和9年度からの南宇和高校全国募集に向け、学生寮建設などを協議中。探究学習や体験型カリキュラムを充実させ、独自の学びを全国に発信予定。

問 四国西南地域・宿毛内海道路の整備について

答 令和4・6年度に事業化され、測量・設計等が進行中。町は情報提供に努め、四国西南地域道路整備促進協議会を通じて国へ早期完成を要望している。

金繁 典子



Kaneshige
Noriko

問 充実した発達支援センターを実現するため、教育と福祉との連携は？

答 保育所から高校までの支援を続ける取り組みを教育委員会としてみしていきたい。

問 小中学校の統廃合検討は、町民との実り多い合意のため意見を聴く機会を設けるべきでは？

答 意見を吸い上げ、創造的な話し合いができるよう考えたい。

問 山出と小山に巨大風車建設のための調査が行われているが、土砂災害の危険や水源への影響が心配される。町の対応は？

答 地区住民の意向を最大限に尊重しながら慎重に対応する。

岡 雄次



Okada
Yuuji

問 各地区の防災対策状況の把握について

答 訓練実施の報告や防災講座の依頼などにより把握している。

問 地域の防災対策状況の温度差の解消について

答 自主防災会の核となるリーダーの発掘が重要である。地域内でのネットワークの連携を構築していく。

問 個別避難支援計画と地域防災組織との連携について

答 地域防災組織と情報を共有することが可能となる条例を制定させ、情報の共有ができるようにする。

山本 美佐



Yamamoto
Misa

問 若者へ向けた新たな住宅政策はあるか？

答 条例改正も含め、若者にも開かれた公営住宅の在り方を柔軟に対応していく。特定公共賃貸住宅の入居条件緩和を国土交通省と協議中。一本松住宅を若者向け住宅とする構想。業務委託や体制見直しで多数の公営住宅募集スピードの向上を目指す。

空き家バンクの町内利用について、今後は周知を強化したい。地域の将来を担う若者世代が安心して暮らせる環境整備に取り組んでいく。

二次元コードを読み取ると一般質問の動画が視聴できます。

問 A・デジタル技術活用について

答 限られた人員で多様化する行政ニーズに対応するため、A・デジタル技術を積極的に活用し、デジタルに不慣れな高齢者への配慮も行う考えである。

また、職員リテラシー向上については、研修の実施やリスク管理体制構築等の環境整備を進める。

問 空き家の活用について

答 空き家バンクについて、固定資産税の通知に併せた制度周知を進めていきたい。

また、個人情報保護・所有権の尊重を前提とし、不動産業者との適切な連携を今後も維持したい。

田中 純樹



Tanaka
Junki



石川 秀夫



Ishikawa
Hideo



問 小中学校の統廃合の進め方について

答 篠山小中学校組合議会で協議し、愛南町・宿毛市両議会へ報告している。

検討委員会は専門性を要するため公募は行わず、会議録をHPで公開する。

問 ふるさと納税返礼品の運用ルールで産地偽装を防ぎ、調達額3割を守るための運用方法の確認は？

答 生産者、返礼品の出品者向けの説明会を開催した上で、契約書を取り交わし、注意喚起に努めている。



議員研修結果報告

10/8 四国地区町村議会議長会研修会

四国各県の町村議会議員のための研修が毎年、四国地区町村議会議長会によって行われます。今年は10月8日に松山市で行われ、約460名の議員が集まりました。

初めに政治ジャーナリストの青山和弘氏から「どうなる日本の政治」と題し、自民党の新総裁の決定と今後予想される政局について話されました。

また元 NHK アナウンサーの三宅民夫氏から「混迷の時代に『幸せの言葉術』のすすめ～アナウンサー人生で学んだ知恵～」と題し、自身の体験を交えながら「言葉には人を励まし、心をつなぎ、命を支える力がある」と語りました。体調不良で腎臓を摘出した際、先輩アナウンサーから届いた励ましの手紙が支えになったことや、認知症の母との関わりの中で「否定ではなく肯定の言葉」が大切だと気づいたことなど、言葉の重みを感じさせるエピソードが印象的でした。



傍聴 においでください!

議会の本会議や委員会を傍聴することができます。

本会議(定例会及び臨時会)の傍聴

傍聴人受付票に住所・氏名を記入し、議場の傍聴席で傍聴してください。

また、本会議は専用サイト(愛媛CATV)でインターネット中継を行っています。



愛媛CATV

委員会の傍聴

傍聴人受付票に住所・氏名を記入し、各委員会が開催される会議室で傍聴してください。

今後の予定

12月3日(水)~12日(金)
12月定例会

- ・正式には議会運営委員会で協議の上、本会議で決定します。
- ・本会議の開催日は町ホームページに掲載します。

編集後記

「議会だより」第4号、いかがでしたか?

愛南町では、子どもの減少に伴い学校の再編が進められています。篠山小中学校が今年度末で休校、来年度末には閉校となり、地域の皆さまにとって長く親しまれてきた学び舎が幕を下ろすこととなります。

学校は単なる教育の場にとどまらず、地域の絆や文化を育む大切な拠点でもあります。これ

からの学校再編に当たっては、子どもたちの学ぶ環境を守ると同時に、地域の誇りや歴史をいかに継承していくかが大きな課題です。

議員としても町民の声を丁寧に受け止め、未来につながる教育環境づくりに力を尽くしていきます。

(田中)

町議会情報



町議会情報

愛南町議会の構成や議会議員の紹介、会議開催予定、過去の会議録など、各種情報を町ホームページ(議会ページ)でお知らせしています。

テーマ募集

特集「高校生議員の声を聞く」、いかがでしたか?この企画は、住民に集まっていただき、一つのテーマについてたっぷりと語り合い、町の活性化につなげようというものです。今後も続けていく予定で、語り合うテーマを募集しています。テーマがありましたらぜひ議会までご連絡ください。

✉ gikai@town.ainan.ehime.jp



皆さんの声を聴かせて!

皆さんのなぜ?あれはどうなったの?これをしてほしい etc...

小さな声を集めて、大きな声にするのが、私たち議会の仕事です。町民の皆さんからの「声」をお待ちしています。二次元コードからどうぞ!

皆さんの声はこちらまで▶



編集委員会メンバーのご紹介

やる気満々!

田中 純樹	岡 雄次	尾崎 恵一	嘉喜山 茂	山本 美佐	金繁 典子
-------	------	-------	-------	-------	-------